

入札公告

次のとおり一般競争入札に付します。

令和 7 年 8 月 2 6 日

国立研究開発法人水産研究・教育機構
南勢拠点長 佐伯 公康

1. 調達内容

- | | |
|----------------|--|
| (1) 調達件名及び数量 | 上浦庁舎浮棧橋フロート取替等業務一式 |
| (2) 調達仕様 | 入札説明書による。 |
| (3) 履行期限 | 令和 8 年 3 月 2 7 日 |
| (4) 履行場所 | 大分県佐伯市上浦大字津井浦
国立研究開発法人水産研究・教育機構
上浦庁舎 |
| (5) 入札方法 | 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の 1 0 0 分の 1 0 に相当する額を加算した金額（当該金額に 1 円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額）をもって落札価格とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の 1 1 0 分の 1 0 0 に相当する金額を入札書に記載すること。 |

2. 競争参加資格

- (1) 国立研究開発法人水産研究・教育機構契約事務取扱規程（平成 1 3 年 4 月 1 日付け 1 3 水研第 6 5 号）第 1 2 条第 1 項及び第 1 3 条の規定に該当しない者であること。
- (2) 令和 7 ・ 8 ・ 9 年度国立研究開発法人水産研究・教育機構競争参加資格又は全省庁統一資格の「役務の提供等業務」の業種「建物管理等各種保守管理」の資格保有者であること。
- (3) 国立研究開発法人水産研究・教育機構理事長から物品の製造契約、物品の販売契約及び役務等契約指名停止措置要領に基づく指名停止を受けている期間中でないこと。
ただし、全省庁統一資格に格付けされている者である場合は、国の機関の同様の指名停止措置要領に基づく指名停止を受けている期間中でないこと。
- (4) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 7 7 号）第 3 2 条第 1 項各号に掲げる者でないこと。

3. 入札説明書等の交付方法

- 競争参加希望者は、以下により入札説明書等（入札説明書、入札心得書、契約書案、入札書様式、委任状様式等）の交付を受けること。
- ① 直接交付
大分県佐伯市上浦大字津井浦
国立研究開発法人水産研究・教育機構
水産技術研究所上浦庁舎
電話 0 9 7 2 - 3 2 - 2 1 2 5
F A X 0 9 7 2 - 3 2 - 2 2 9 3
- ② 宅配便着払いによる交付
任意書式に「上浦庁舎浮棧橋フロート取替等業務入札説明書宅配便にて希望」と記入し、社名、担当者名、住所、電話番号を記載のうえ、上記①あて F A X 送信すること。
- ③ メールによる交付
任意書式に「上浦庁舎浮棧橋フロート取替等業務入札説明書メールにて希望」と記入し、社名、担当者名、メールアドレス、電話番号を記載のうえ、上記①あて F A X 送信すること。

4. 入札説明会の日時及び場所等

仕様書等に関し質疑がある場合には、令和 7 年 9 月 1 0 日までに上記 3. あてにメール（アドレスは入札説明書に記載）又はファックスにて質疑を行うこと。当日までの質疑を取りまとめ、回答は入札説明書受領者全員に対して行うとともに当機構のホームページにて公表する

ことにより入札説明会に代える。
なお、当該日以降に質疑が発生した場合も随時受け付け、同様に対応する。
ただし、質疑内容に個人に関する情報であって特定の個人を識別し得る記述がある場合及び法人等の財産権等を侵害するおそれのある記述がある場合には、当該箇所を伏せ又は当該質疑を公表せず、質疑者のみに回答することがある。

6. 入札の日時及び場所等

- (1) 入札の日時及び場所 令和7年9月18日 10時00分
大分県佐伯市上浦大字津井浦
国立研究開発法人水産研究・教育機構
上浦庁舎会議室
- (2) 郵便による入札書の受領期限及び提出場所 令和7年9月17日 17時00分
3. ①に同じ。

7. その他

- (1) 契約手続きにおいて使用する言語及び通貨 日本語及び日本国通貨。
- (2) 入札保証金及び契約保証金 免除。
- (3) 入札の無効 本公告に示した競争参加資格のない者の提出した入札書及び入札に関する条件に違反した入札書は無効とする。
- (4) 契約書作成の要否 要。
- (5) 落札者の決定方法 予定価格の制限の範囲内で最低価格をもって有効な入札を行った入札者を落札者とする。
- (6) 競争参加者は、入札の際に国立研究開発法人水産研究・教育機構の資格審査結果通知書写し又は全省庁統一資格の資格審査結果通知書写しを提出すること。
- (7) 詳細は入札説明書による。

8. 契約に係る情報の公表

- (1) 公表の対象となる契約先
次の①及び②いずれにも該当する契約先
① 当機構において役員を経験した者（役員経験者）が再就職していること又は課長相当職以上の職を経験した者（課長相当職以上経験者）が役員、顧問等※注1として再就職していること
② 当機構との間の取引高が、総売上高又は事業収入の3分の1以上を占めていること※注2
- なお、「当機構」とは、改称前の独立行政法人水産総合研究センター及び国立研究開発法人水産総合研究センター、統合前の独立行政法人水産大学校を含みます。
- ※注1 「役員、顧問等」には、役員、顧問のほか、相談役その他いかなる名称を有する者であるかを問わず、経営や業務運営について、助言すること等により影響力を与えると認められる者を含む。
- ※注2 総売上高又は事業収入の額は、当該契約の締結日における直近の財務諸表に掲げられた額によることとし、取引高は当該財務諸表の対象事業年度における取引の実績による。
- (2) 公表する情報
上記(1)に該当する契約先について、契約ごとに、物品役務等の名称及び数量、契約締結日、契約先の名称、契約金額等と併せ、次に掲げる情報を公表する。
① 当機構の役員経験者及び課長相当職以上経験者（当機構OB）の人数、職名及び当機構における最終職名
② 当機構との間の取引高
③ 総売上高又は事業収入に占める当機構との間の取引高の割合が、次の区分のいずれかに該当する旨
3分の1以上2分の1未満、2分の1以上3分の2未満又は3分の2以上
④ 一者応札又は一者応募である場合はその旨
- (3) 当機構に提供していただく情報
① 契約締結日時時点で在職している当機構OBに係る情報（人数、現在の職名及び当機構における最終職名等）
② 直近の事業年度における総売上高又は事業収入及び当機構との間の取引高

(4) 公表日
契約締結日の翌日から起算して原則として72日以内(4月に締結した契約については原則として93日以内)

(5) その他
当機構ホームページ(契約に関する情報)に「国立研究開発法人水産研究・教育機構が行う契約に係る情報の公表について」が掲載されているのでご確認くださいとともに、所要の情報の当機構への提供及び情報の公表に同意の上で、応札若しくは応募又は契約の締結を行っていただくようご理解とご協力をお願いいたします。
なお、応札若しくは応募又は契約の締結をもって同意されたものとみなさせていただきますので、ご了解願います。

9. 公的研究費の不正防止にかかる「誓約書」の提出について

当機構では、国より示された「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン(実施基準)」(平成19年2月15日文部科学大臣決定)に沿って、公的研究費の契約等における不正防止の取り組みを行っており、取り組みのひとつとして、取引先の皆様に「国立研究開発法人水産研究・教育機構との契約等にあたっての注意事項」(URL:https://www.fra.go.jp/home/keiyaku/files/pledge_requestnote_contract2.pdf)をご理解いただき、一定金額以上の契約に際して、当該注意事項を遵守する旨の「誓約書」の提出をお願いしています。

公的研究費の不正防止関係書類(①公的研究費の不正防止にかかる「誓約書」の提出について、②国立研究開発法人水産研究・教育機構との契約等にあたっての注意事項、③誓約書)は、入札説明書に添付しますので、契約相手方となった場合は、誓約書の提出をお願いします。

なお、当機構の本部、研究所、開発調査センター、水産大学校いずれか1箇所に1回提出していただければ、当機構内の次回以降の契約では再提出する必要はありません。

業 務 仕 様 書

1. 件 名 上浦庁舎浮棧橋フロート取替等業務
2. 業務目的 上浦庁舎筏係留施設の一部である浮棧橋において、フロート浮力が経年劣化により低下し、海面生簀への移動時に安全確保ができないことから、フロート取替を行い機能回復させること。
また、浮棧橋の両舷に取り付けられている防舷材において、固定ボルト等が塩害により腐食し、防舷材が脱落していることから、防舷材を取り付け直し現状復旧させること。
3. 業務場所 大分県佐伯市上浦大字津井浦
国立研究開発法人水産研究・教育機構 上浦庁舎
4. 履行期限 令和 8 年 3 月 2 7 日
5. 業務内容
 - 1) 浮棧橋フロート取替
 - ① 既設フロートを取外し新規フロートに取替を行うこと。(総重量約 1,800kg)
 - ② 交換フロートは FRP またはウレタンコーティング処理してあるものかプラスチック製のものとする。
※ 設置場所及び規格サイズについては別紙参照
※ 既存品：ゼニヤ海洋サービス(株)製 ゼニフロート ZU-S 型
発泡スチロールフロート (浮力約 300 kg)
 - ③ 作業完了後は潮位の変化に対して問題なく棧橋が浮動することを確認すること。
 - 2) 防舷材修繕
 - ① 既設防舷材 (計 4 本) を取り外し、腐食部分を避けて再度取り付けること。
※ 修繕箇所の詳細については別紙参照
6. 特記事項
 - ① 取替作業に実施にあたって当庁舎敷地以外に作業場所が必要な場合は請負業者にて手配すること。
 - ② 1 日 1 回、養成魚の給餌のために職員が筏に渡る手段を確保すること。
 - ③ 本業務に必要な水・電力等は、担当職員と打合せの上、構内施設から無償で利用できるものとする。
 - ④ 作業にあたっては、生け簀で養成中の魚類にストレスを与えないよう慎重に行うこと。また近隣漁業施設等へ配慮のうえ実施すること。
 - ⑤ 本業務を実施するにあたり、必要に応じ海上保安庁等へ申請を行うこと。
 - ⑥ 本業務に必要な資材及びその他雑材等は請負業者において準備し、発生

した廃材等は構外に搬出し関係法令等に従い適切に処分すること。

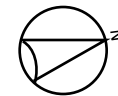
⑦ 作業終了後は双方担当職員立ち合いの下、設置状況の確認を行うこと。

⑧ 業務の各工程においては写真撮影を行い、完成図書を作成し2部提出すること。

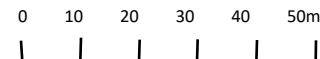
7. その他 詳細については担当職員の指示に従うものとする。

別紙：上浦庁舎浮棧橋フロート取替等業務

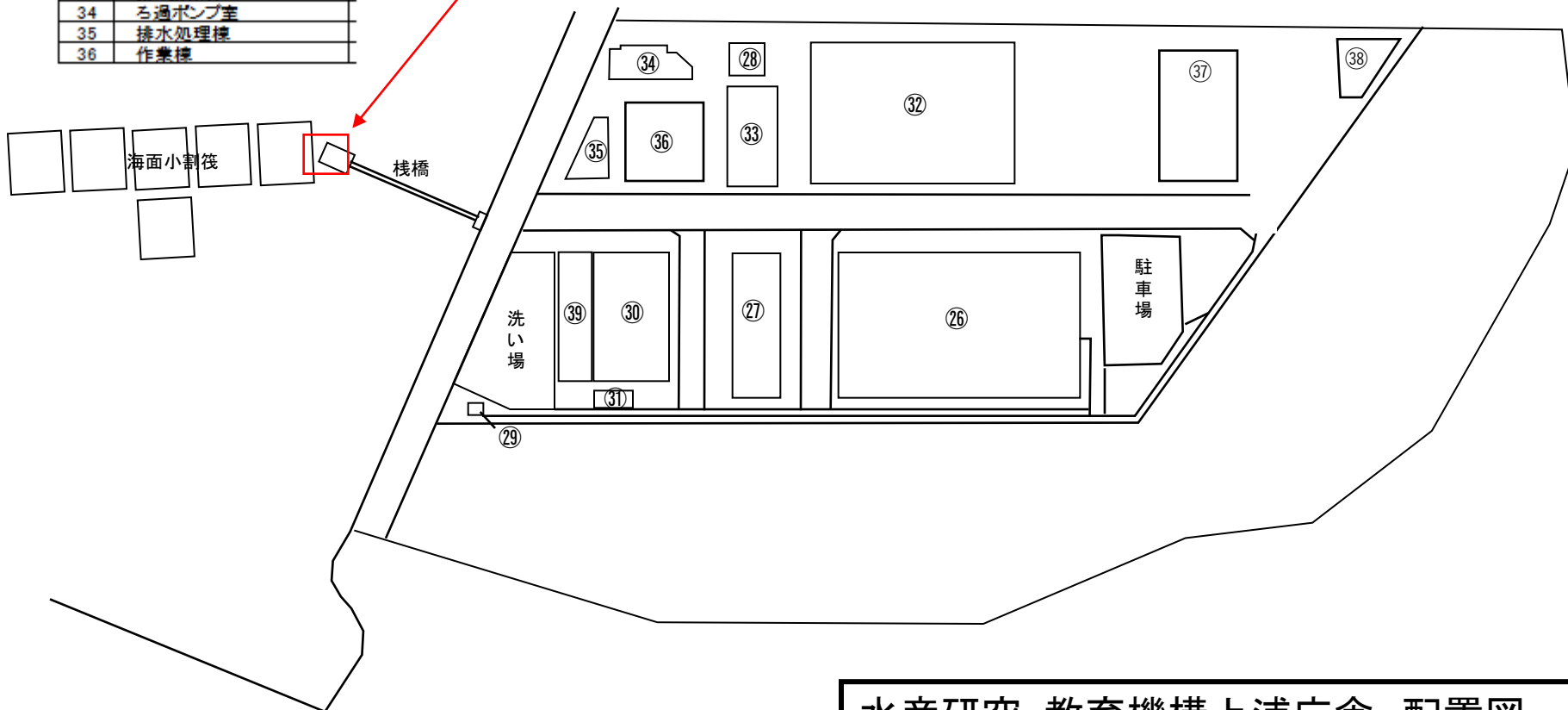
建番	施設名
37	研究管理棟
38	車庫
26	隔離飼育棟
27	機械棟
28	ポンプ室(1)
29	ポンプ室(2)
30	実験動物飼育棟
39	実験動物飼育棟屋外上屋
31	第2ボイラー室
32	健苗量産システム棟
33	第2機械棟
34	ろ過ポンプ室
35	排水処理棟
36	作業棟



配置図 s=1/1000



上浦庁舎浮棧橋設置場所



水産研究・教育機構上浦庁舎 配置図

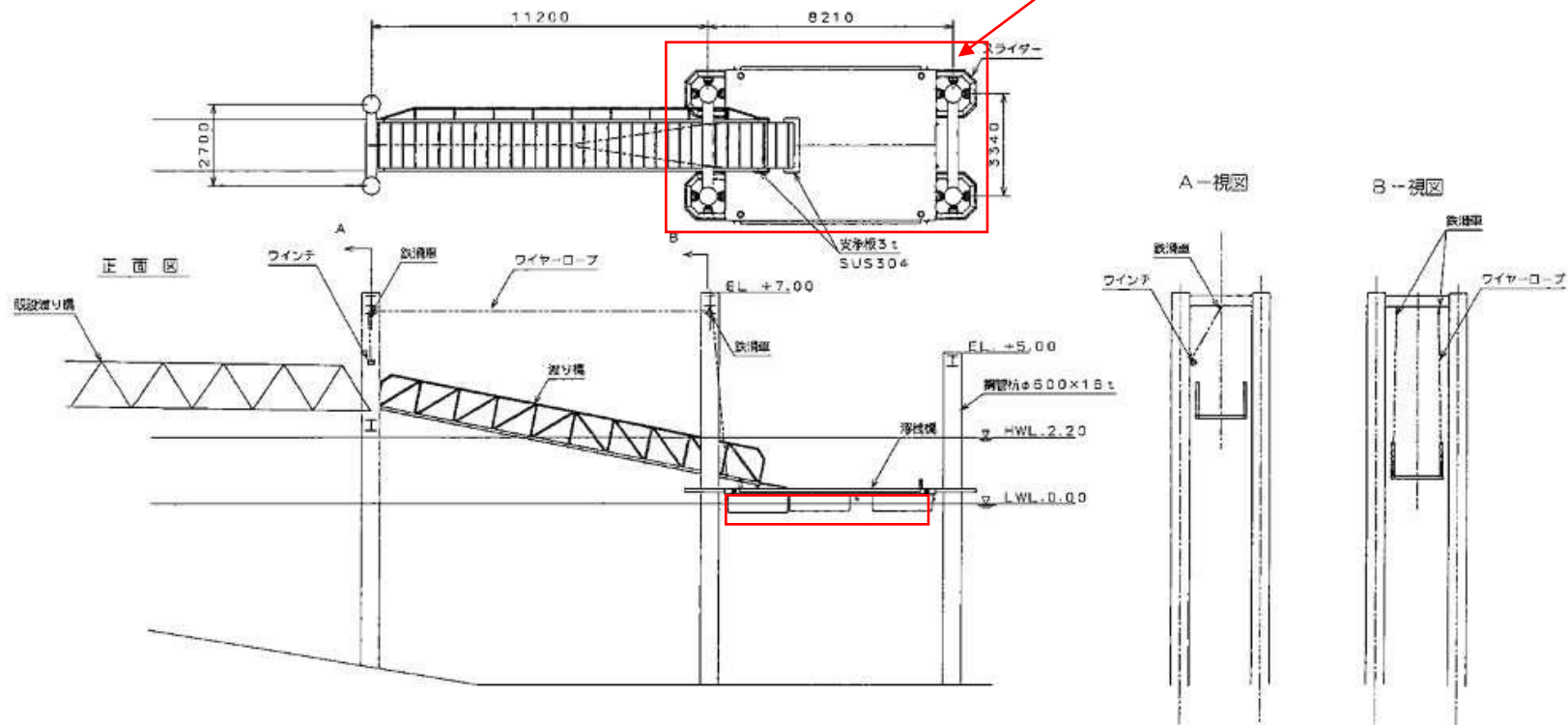
上浦庁舎浮棧橋フロート取替業務(詳細)

栽培漁業センター(上浦3)建築改修工事

平面図

全体図
S=1/100

取替実施箇所

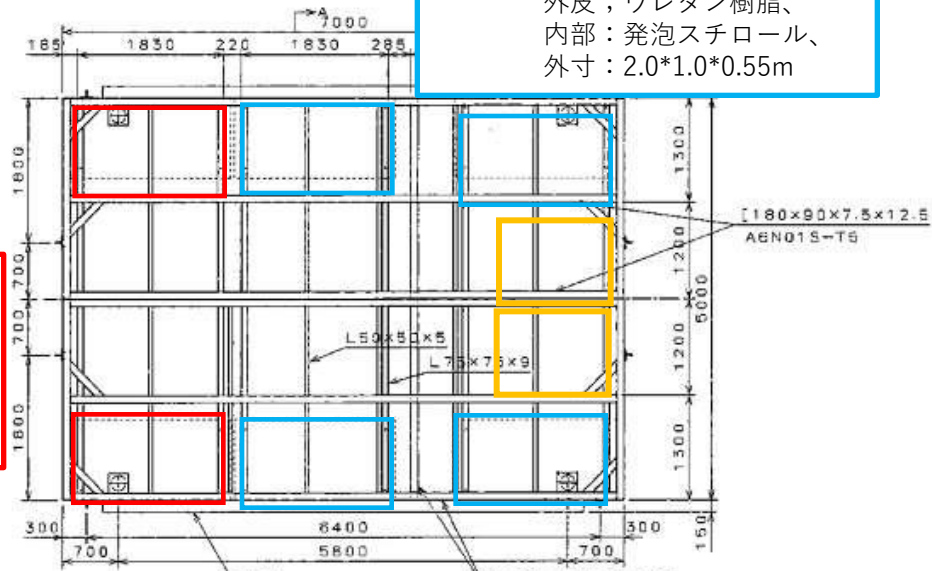


※1. 長大物の遊り橋吊り上げには、手錠きワインチを用いる。

取替実施箇所(拡大)

浮桟橋詳細図
S=1/40

平面図



取替 2 箇所

※現行／ゼニヤ海洋サービス(株)製
ゼニフロートZU-S型
外皮；ウレタン樹脂、
内部：発泡スチロール、
外寸：2.0*1.0*0.65m

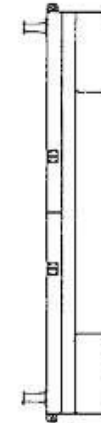
取替 4 箇所

※現行／ゼニヤ海洋サービス(株)製
ゼニフロートZU-S型
外皮；ウレタン樹脂、
内部：発泡スチロール、
外寸：2.0*1.0*0.55m

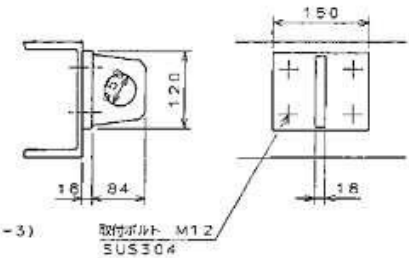
取替 2 箇所

※現行／メーカー不詳
外寸：2.0*0.6*0.5m

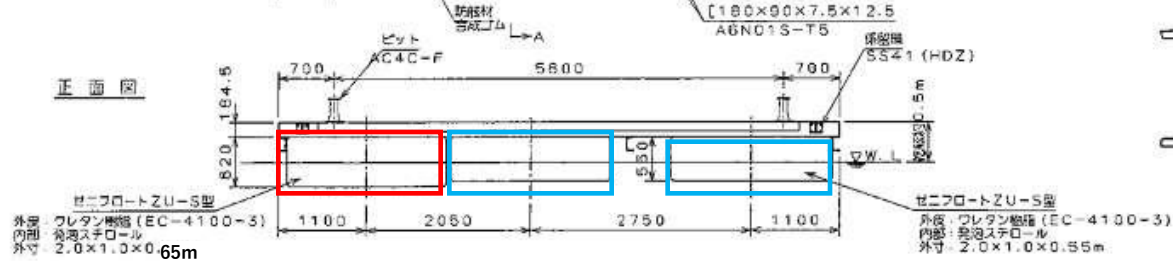
側面図



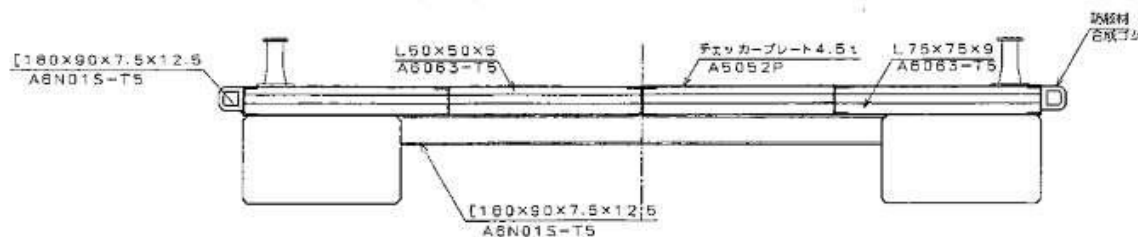
係留環詳細図
S=1/5



正面図

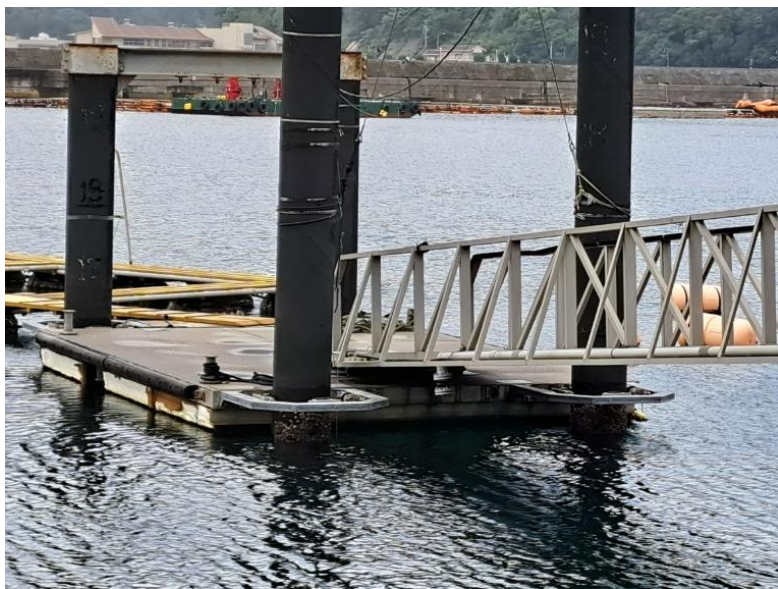
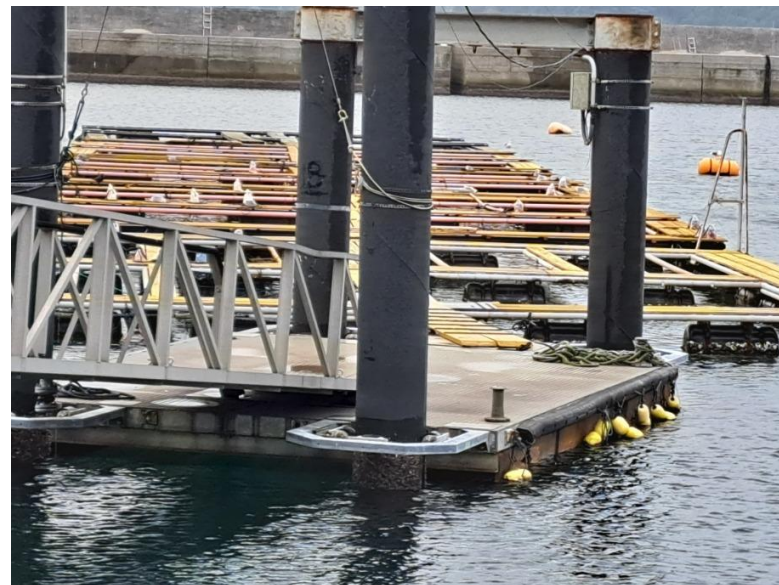


A-A断面図
S=1/20

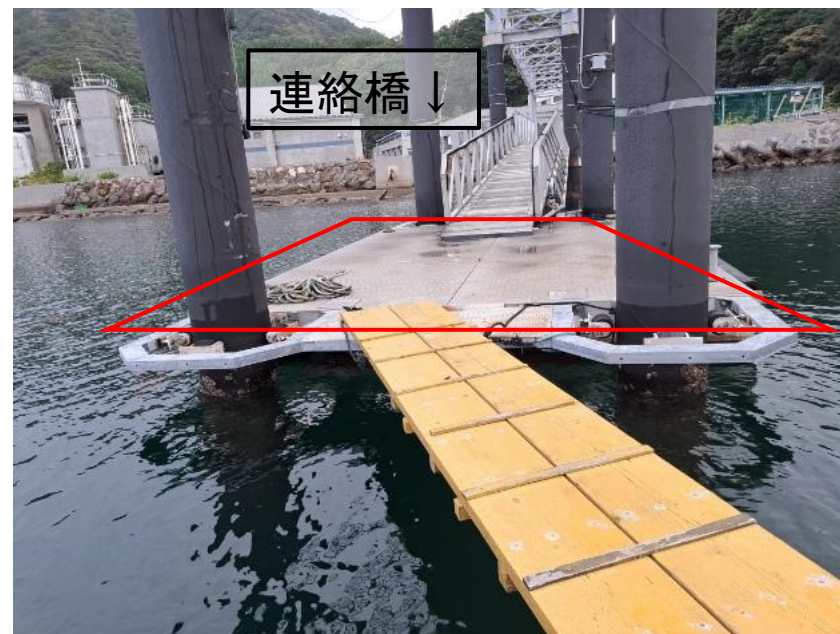
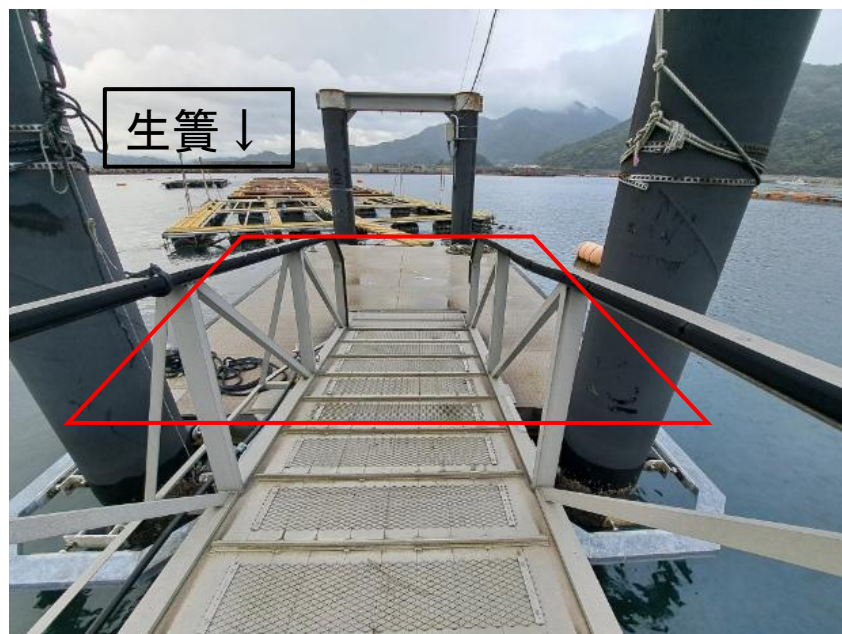


※1. 材質特記なき部材は、耐食アルミ合金とする。

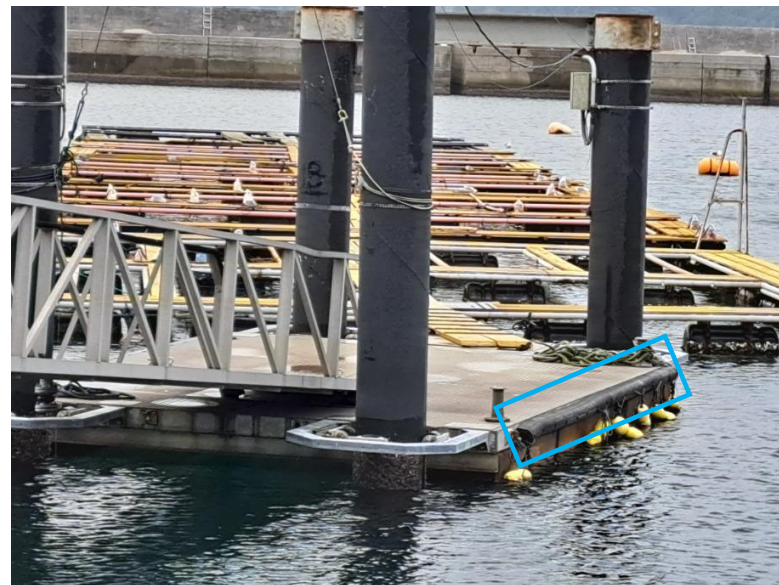
現況写真（浮棧橋）



拡大（浮棧橋）

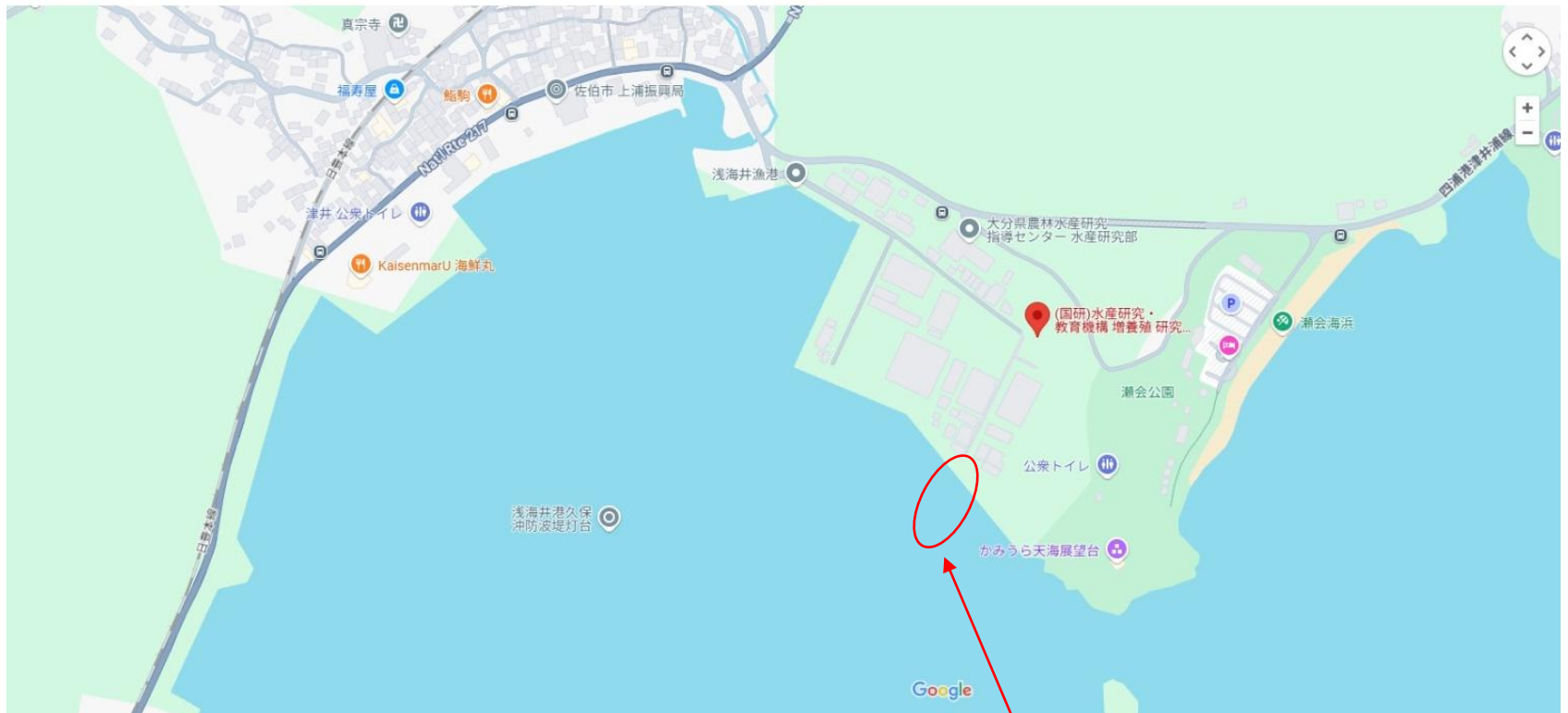


□ : 5.1) 浮棧橋（□）の裏側にあるフロート 8 個を新品に取替える



□ : 5. 2) 浮棧橋両舷の防舷材を取り外し、再度取り付ける

※参考:上浦庁舎周辺



浮棧橋・海面生簀設置箇所